

2025年1月23日
損害保険ジャパン株式会社

自動車保険における保険金の不正請求防止に向けた取組み ～不正請求対応の高度化に向けた専門部署新設と専門性/デジタル技術の融合による不正 検知～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、自動車保険における保険金の不正請求の防止に向けた取組みを強化するため、2025年4月に自動車保険の不正事案対応の専門部署を新設するとともに、米EIS Group, Inc（CEO 兼代表取締役社長：Alec Miloslavsky、以下「EIS」）が提供する保険金不正請求検知システムを導入します。

1. 背景

近年、自動車保険における保険金の不正請求は、複雑化・巧妙化しており、組織的な犯行も増加しています。保険金の不正請求は、保険金の適正な支払いを阻害するだけでなく、保険金全体の支払額増加に伴う保険料への影響など保険契約者全体の不利益にもつながり、損害保険業界のみならず社会全体にとって重要な課題のひとつとなっています。

損保ジャパンは、自動車保険における保険金不正請求を防止する取組みの強化を通じ、公平かつ公正な保険金支払いを実現します。

2. 取組みの概要

（1）不正請求対応専門部署の新設

複雑化・巧妙化している保険金の不正請求に対応するためには、これまで以上に高い専門性や対応上のノウハウが必要です。損保ジャパンは、保険金不正請求の予兆が検知された事案について、専門的に調査・対応する部署を2025年4月に新設します。

これにより保険金不正請求の疑いがある事案を本部署で一元的に管理し、不正請求手口の傾向の把握・分析、調査・対応方法にかかる専門的な知見やノウハウを蓄積し、全国の保険金サービス拠点へ展開します。本部署は、自動車保険における保険金の不正請求防止の強化に向けて、損保ジャパンの中心的な役割を担います。

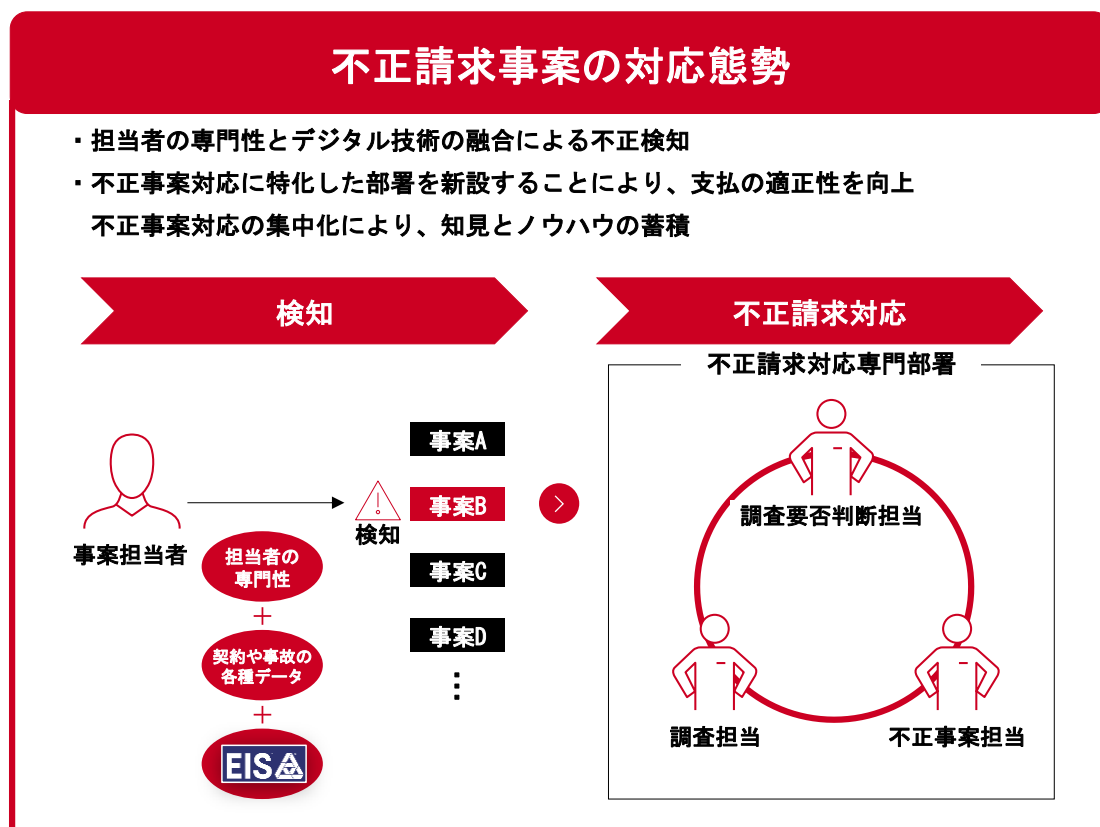
（2）保険金不正請求検知システムの導入

損保ジャパンは、保険金の不正請求検知に高い知見を持つEISの提供する保険金不正請求検知システムを2025年4月から導入します。本システムでは、膨大な過去の保険金支払データをAIが分析し、分析したデータをもとに、不正請求事案と類似性の高い事案を検知します。具体的には、分析したデータと、新たに受け付けた事故の申告状況や契約内容を照合することで、不正請求に繋がる可能性がある要素を抽出し、不正請求の可能性をスコアリングします。これまで同様、担当者の専門性に基づく不正予兆の検知に加え、EISの提供する保険金不正請求検知システムをはじめとしたデジタルを活用した予

兆把握の仕組みを導入することで、より慎重に対応すべき事案を早期に把握するとともに、疑いのない事案に対しては、これまで以上に迅速な保険金支払いを実現します。

(3) 不正請求事案の対応態勢

保険金支払業務において、従来、事案担当者の経験や知見に基づき、不正請求の対応を進めてきました。不正請求対応専門部署の新設および保険金不正請求検知システムの導入により、担当者の専門性とデジタルの双方を活用した不正請求検知の高度化および専門部署による対応強化を実現します。



3. 今後について

損保ジャパンは、今後も、さまざまな不正請求手口に対する検知や調査方法の確立に向けて、幅広く先進技術を取り入れ、保険金支払いの適切性のさらなる向上を目指します。また、火災保険や傷害保険など自動車保険以外の種目においても、このような取組みを随時展開していきます。

■EIS Group, Inc について

サンフランシスコに本社を置く EIS は保険業界における SaaS コアプラットフォームのリーディングプロバイダーであり、顧客中心かつデータ主導といった未来のエコシステムを構築しようとする意欲的な保険会社をサポートします。API 主導のイベント駆動型のプラットフォームである EIS OneSuite™ を筆頭とする強力かつユニークな製品ラインナップにより、保険会社が、高い業務効率、自立性、そして世界トップクラスの顧客サービスを実現する世界へと踏み出すことを手助けします。

設計段階からデジタルネイティブである EIS の製品は、保険会社のインフラ環境を問わず、あらゆる事業分野でシームレスに動作し、あらゆる保険商品をサポートします。新しい市場への参入、革新的な商品の発売、魅力的な顧客体験の創出が可能となり、同時にコスト削減とインテリジェントな自動化といった成長への道のりの加速を実現します。

詳細については、www.eisgroup.com をご覧ください。

以上